

## 基本目標6 子育て家庭を支える環境づくり

(A:計画通りに実行/B:一部実行/C実行していない) (1:現状維持/2:拡大/3:縮小/4:廃止/5:その他)

事業No.	主要な施策・事業	施策・事業の内容	担当課	平成27年度取組内容（実績）や課題等		今後の実施内容（予定）や方向性等	
212	民生委員・児童委員、主任児童委員による子育て家庭や子どもの見守りネットワークの構築	子育てサークル及び青少年・子育て関係機関・団体等相互の情報交換や連携による活動促進による子育て家庭や子どもの見守りネットワークの構築を進めていきます。	生活福祉課 → 福祉総務課	A	青少年・子育てについての市内小学校等との情報交換を行いました。	1	子育て家庭や子どもの見守りネットワークの構築を進めていくため、今後も市内小学校等との情報交換を行います。
213	地域人材の活用	子どもの心身共に健やかな成長を支援するため、わが町の子どもを育てよう事業等の活用とともに、ボランティア等の地域人材の活用をさらに推進し、地域による教育力を高めます。また、新たな人材の発掘と積極的な活用を推進します。	教育委員会指導室	A	我が町の子どもを育てよう事業を活用し、地域に密着したイベントやフェスティバル、教育講演会等の行事を開催し、学校を核とした地域人材の活用や開拓を推進した。	1	各中学校区の地域教育協議会を中心に各地域に根ざした取組みを推進し、地域人材の活用を図る。
214	子育てサークルの育成	子どもや子育ての支援を行うため、継続的に子育てサークルへの助成を行い、育成活動を支援します。	こども未来室	A	各サークルに活動支援補助金の交付をおこなったり、絵本やバルーン等の貸し出しを行っています。	1	引き続き、子育てサークルへの助成を行っていきます。
215	子育て支援人材のデータベース化の検討	子どもや子育ての支援を幅広く、有効に行うため、子育て支援人材のデータベース化について情報を収集し検討に努めます。	こども未来室	C	平成27年度中は、検討に至っておりません。	5	情報を収集し検討に努めます。
216	地域における子育て支援活動の促進	(福)和泉市社会福祉協議会やいきいきネット相談支援センターなどの関係機関と連携し、子どもや子育て世帯を含めた地域の要支援者が孤立することなく、安心して生活できるよう、日常の見守りや声かけなどの体制の充実を図れるよう支援します。	福祉総務課	A	(福)和泉市社会福祉協議会が実施している小地域ネットワーク活動において、子どもの登下校の見守りを実施しています。また、見守り声かけ訪問も実施しており、地域のセーフティネット強化に取り組ましました。	1	今後も子どもの登下校の見守り、見守り声かけ訪問を継続して実施し、地域のセーフティネット強化に取り組みます。
217	交通安全施設整備の推進	交差点の改良、歩道整備、段差改善、視覚障害者誘導ブロックの設置、歩道幅員の確保等関係機関や地域住民との協力・連携により進めます。	道路河川室	A	和泉府中北通り線において、歩道のバリアフリー化整備を行うと共にあゆみ野6号線では、安全な交通形態を確保するために交差点改良を実施。また、より安全な交通環境を確保するため、地元町会及び警察と連携し、区画線及びカーブミラー等の交通安全施設の整備を行った。	1	交通バリアフリー基本構想に基づき、計画的に歩道のバリアフリー化を実施すると共に今後も、地元町会及び警察と連携を図り、交通安全対策を講じていく。

基本目標6 子育て家庭を支える環境づくり

(A:計画通りに実行/B:一部実行/C:実行していない) (1:現状維持/2:拡大/3:縮小/4:廃止/5:その他)

事業No.	主要な施策・事業	施策・事業の内容	担当課	平成27年度取組内容（実績）や課題等		今後の実施内容（予定）や方向性等	
218	通学路等の安全確保	交通安全対策を講じるだけでなく、学童の登下校マナーの教育についても重点を置いて安全確保を図ります。	道路河川室	A	通学路の路側帯のカラー化や注意を喚起する啓発看板、路面表示、とび出し防止マークの設置を行った。また、小中学校において交通安全教室を実施し、交通ルール・マナーの周知を行った。	1	交通安全対策を講じるだけでなく、学童の登下校マナーの教育についても重点を置く必要がある。
219	チャイルドシートの利用促進	チャイルドシートの使用は義務化されており、今後も継続して設置を徹底するよう啓発します。	道路河川室	A	リーフレットやポスター等を通し広報啓発を行った。	1	今後も広報啓発を継続する。
220	ドライバーに対する安全運転等の呼びかけ	子どもや妊婦等に配慮した運転など、交通ルール及びマナーの習得に向けて講習会を実施していきます。	道路河川室	A	年2回、春と秋に運転者講習会を実施した。	1	今後も運転者講習会を実施する。
221	不法駐輪・駐車等の解消の啓発	歩道への不法駐輪・駐車など、通行を妨げる行為について解消するため、啓発を行います。また、店舗利用客の不法駐輪対策についても検討を行っていきます。	道路河川室	A	月に10日程度、自転車等放置禁止区域にて放置防止の街頭指導及び自転車等の撤去作業を行った。	1	今後も街頭指導及び撤去作業を実施する。
222	自転車の走行マナーについての啓発	交通安全教育等を通じて、自転車の走行マナー向上に向けた啓発を行っていきます。	道路河川室	A	リーフレットやポスター等を通し広報啓発を行った。また、交通安全教室を通しマナーの周知を行った。	1	今後も広報啓発及び交通安全教室を継続する。
223	交通安全教育の推進	警察等関係機関との連携を図り、保育所、幼稚園、学校、地域等において交通安全教育を進めます。また、地域との連携により、子どもの見守り活動を通して交通安全教育を進めます。	こども未来室	A	警察等関係機関との連携を図り、保育所、地域等において交通安全教育を進めました。また、就学を前にした5歳児のための交通安全教室を行い、年齢に合わせた交通安全教育を行った。	1	今後も警察や関係機関と連携しての交通安全教室を実施する。
			教育委員会指導室	A	各学校において交通安全教室を実施。交通事故の未然防止に努めた。	1	府自転車条例の施行に伴い、今後は自転車乗車のルールについても積極的に啓発に取り組んでいく。
			道路河川室	A	市内各幼稚園や保育園、小中学校及び老人会等において交通安全教室を開催した。	1	今後も交通安全教室を実施するとともに、交通安全教育指導員の募集も実施する予定。

## 基本目標6 子育て家庭を支える環境づくり

(A:計画通りに実行/B:一部実行/C:実行していない) (1:現状維持/2:拡大/3:縮小/4:廃止/5:その他)

事業No.	主要な施策・事業	施策・事業の内容	担当課	平成27年度取組内容（実績）や課題等		今後の実施内容（予定）や方向性等	
224	「子ども110番の家*」事業の推進	大阪府民会議が実施推奨する「こども110番の家」運動を小学校との連携により、引き続き進めます。	生涯学習課	A	27年度も「和泉市こども110番の家」に関する申込を受け、協力世帯の確認および保険加入手続きのうえ、旗の配布を行った。追加協力世帯があれば、随時受付。	1	今後も継続的に取り組み、不審者等による事件を未然防止に寄与し、安全確保に関する活動の促進を図る。
225	青色防犯パトロールの普及促進	ボランティア団体等が、青色回転灯を付けたパトロール車で地域を巡回し、長時間・広範囲での子どもの見守り・防犯活動を実施します。	教育委員会指導室	A	毎月月初め及び学期のはじめと終わりに各校区の巡回を実施。6月の学校安全強化週間の見守りを実施。	1	子どもを巻き込む犯罪抑止のため、今後も地域、関係諸機関と連携しながら取り組んでいく。
226	防犯灯の設置	今後も新設のLED防犯灯に対する補助を行うとともに、電気料金に対する補助を行い、各町会・自治会の負担を軽減し、明るいまちづくりに努めます。	公民協働推進室	A	LED防犯灯128灯の新規設置について補助を行った。また、市内13,098灯の防犯灯の電気料金の一部にまたは全額を補助した。	2	今後も新規のLED防犯灯に対する補助を行うと共に、電気料金に対する補助を行い、各町会・自治会の負担を軽減し、明るいまちづくりに努める。
227	防犯カメラの設置	子どもや女性を対象とした犯罪等を抑止するため、住宅街等に防犯カメラ設置を行う自治会等への補助を実施することにより、地域防犯力の向上を図ります。	公民協働推進室	A	町会・自治会が設置した防犯カメラ42台の新規設置について補助を行った。また、地方創生交付金事業を活用し、通学路上に21台の防犯カメラを設置した。	2	防犯カメラに対する補助を行い、各町会・自治会の負担を軽減し、地域防犯力の向上に努める。
228	防犯意識の高揚	市民の防犯意識を高めるとともに、安全なまちづくりを進めるため、和泉市安全なまちづくり推進協議会及び和泉防犯協議会の活動を促進します。また、街頭啓発キャンペーンなどの啓発活動を進め、防犯意識の高揚に努めます。	公民協働推進室	A	安全なまちづくりを推進するため、安全なまちづくり推進協議会及び防犯協議会に対して、防犯活動業務の委託を行った。また、これら防犯団体の他、警察とも連携を図り、街頭啓発キャンペーンなどの啓発活動を行うことにより、防犯意識の高揚に努めた。	2	今後も警察や防犯関係団体との連携を図り、情報を共有しながら、防犯活動の推進に努める。
229	防犯ネットワークの確立	地域の防犯体制を確立するため、各防犯関連団体の活動の促進と情報ネットワークを強化するとともに、啓発活動を進めます。	公民協働推進室	A	警察や防犯関係団体との連携を図り、情報を共有しながら啓発活動などを行った。	2	今後もネットワークを強化し、啓発活動に努める。

基本目標6 子育て家庭を支える環境づくり

(A:計画通りに実行/B:一部実行/C:実行していない) (1:現状維持/2:拡大/3:縮小/4:廃止/5:その他)

事業No.	主要な施策・事業	施策・事業の内容	担当課	平成27年度取組内容(実績)や課題等		今後の実施内容(予定)や方向性等	
230	子どもの防犯指導の推進	保育所、幼稚園、学校等における子どもの防犯指導を進めます。	こども未来室	A	年間計画をたて、防犯訓練に実施した。	1	引き続き保育所、幼稚園における子どもの防犯指導に努めます。
		自己防衛意識の育成と安全教育の充実を図るとともに、少年補導ネットワークとの連携を推進します。	教育委員会指導室	A	少年補導員や青少年指導員、所管警察署等と連携し、合同補導を行うなど、補導ネットワークの充実を図った。	1	合同補導の拡充を図り、重点箇所の補導活動を行う。
231	安まちメール*等を活用した子ども安全対策の推進	子どもに対する声かけ等事案の発生情報及び防犯対策情報を、「安まちメール(携帯電話等へのメール配信システム)」や府警ホームページを活用してリアルタイムに提供することにより、自主防犯意識を高め、子どもの犯罪被害を防ぎます。	公民協働推進室	A	子どもに対する声かけ等の事案発生に関して、安まちメールやホームページを活用することにより、リアルタイムに情報を提供し、自主防犯意識の高揚に努めた。	2	今後も、安まちメールへの登録者を拡大するなどし、自主防犯意識の高揚に努めます。
232	学校等における防犯対策の推進	保育所において不審者等非常事態が発生した場合、大阪府警察本部と直結した非常通報装置を設置しており、定期的な保守を実施します。	こども未来室	A	保育所において不審者等非常事態が発生した場合、大阪府警察本部と直結した非常通報装置を設置しており、定期的な保守を実施。	1	非常通報装置の定期的な保守を実施します。
		小学校全21校の正門に来校者受付員を継続配置します。	教育委員会教育総務室	A	登下校時に安全対策員を配置した。	1	継続して実施する。
233	学校等における防災対策の推進	保育所、幼稚園、学校等において、耐震設備の整備や避難訓練、防災教育の実施等を進めます。	こども未来室	A	保育所における防災対策の大切さの再確認を行い、定期的な防災訓練計画をたてて実施した。	1	引き続き保育所、おける防災対策の推進、防災教育の実施等を進める。
		避難所となる体育館の非構造部材の耐震化改修を計画的に実施していきます。	教育委員会教育総務室	A	富秋中学校において、非構造部材の改修工事を含めた大規模改修工事を実施した。	1	改修計画に基づき、7校の改修を実施するとともに、平成29年度に向けた5校の設計に取り組む。
		危機管理マニュアルを見直すとともに、避難訓練・防災教育の充実を図ります。	教育委員会指導室	A	各学校において火災・地震・津波等複合的な自然災害に関する防災訓練を実施。危機管理マニュアルの定期的な見直しを実施。	1	災害時に子どもたちが自ら判断し、行動できるようさらなる防災教育、防災訓練の実施に努めていく。保護者・地域との連携も深めていく必要がある。

基本目標6 子育て家庭を支える環境づくり

(A:計画通りに実行/B:一部実行/C:実行していない) (1:現状維持/2:拡大/3:縮小/4:廃止/5:その他)

事業No.	主要な施策・事業	施策・事業の内容	担当課	平成27年度取組内容（実績）や課題等	今後の実施内容（予定）や方向性等
234	地域における防災活動の促進	女性消防クラブ連合の活動促進や地域における避難体制の確立を進めます。また、自主的な防災活動の認識を深め、災害への備えの充実強化を図ることを目的に各地の防災センター等での研修会を実施します。	消防本部予防課	<p>A</p> <p>1 防火訓練について 町会・自治会と合同で消火訓練、応急処置訓練を各校区ごとに実施した。地域防災訓練では、非常食の炊き出し訓練及び実技体験を実施した。</p> <p>2 広報活動について 春と秋の全国火災予防運動に伴い、市内鉄道各駅において火災予防パンフレットの配布を実施した。</p> <p>3 視察研修について 9月1日に兵庫県三田市のモリタ(株)工場視察を実施した。</p>	<p>1 災害発生時における地域住民との共助の高揚と被害を最小限に止められるよう訓練を継続実施する。</p> <p>2 2 市民への防火啓発及び防火・防災の意識の高揚を図るため継続実施する</p> <p>3 技術・知識を習得するためにも継続実施する。</p>
		「自分たちのまちは自分たちで守る」を合言葉に、町会・自治会単位に自主防災組織を新規結成し、自主防災活動を促進するため、各種防災訓練や火災訓練実施等を通じて、地域の防災意識の高揚を図ります。	公民協働推進室	<p>A</p> <p>町会・自治会単位で自主防災組織の結成・活動を促進するため、資機材購入、校区単位での防災訓練、自主防災組織単独での防災訓練等に対して補助を実施しています。自主防災組織数は、40団体となっている。(H28.3.31現在)</p>	<p>2</p> <p>新たな自主防災組織が結成できるよう、町会・自治会に対して地域防災に関する周知・啓発を行っていく。</p>
235	避難行動要支援者支援事業の確立	登録が必要と思われる避難行動要支援者に対し、周知及び登録を促すとともに、啓発活動を行っていきます。	公民協働推進室	<p>A</p> <p>従来からの安否確認登録制度から避難行動要支援者支援制度に運用を変更。要支援者への周知を図ると共に、支援者に対する支援協力のための導入説明会、名簿配布を実施することで、避難行動要支援者支援事業の確立が図れた。</p>	<p>5</p> <p>避難行動要支援者事業については、福祉総務課に事務移管済み。</p>
		公民協働推進室や福祉部局との調整の下で、災害時対策に協力します。	福祉部局	<p>A</p> <p>各小学校区ごとに支援者説明会を行い、地域の支援者に対して避難行動要支援者同意台帳の配付を行いました。</p>	<p>1</p> <p>今後も制度の周知に努め、支援者及び要支援者への理解度の向上を図るとともに地域での災害時対策の構築に協力します。</p>
236	青少年の日常指導育成の促進	青少年の健全育成を図るため、青少年指導員協議会が主催する青少年の相談や地域づくり、環境浄化、街頭啓発等の支援を行います。	生涯学習課	<p>A</p> <p>夏期巡回やによる非行防止啓発活動や社会環境実態調査による環境浄化、イベント等での啓発活動を行い、青少年の健全育成のための活動に取り組んだ。</p>	<p>1</p> <p>引き続き、青少年の健全育成に資する活動の取り組みを実施する。</p>

基本目標6 子育て家庭を支える環境づくり

(A:計画通りに実行/B:一部実行/C:実行していない) (1:現状維持/2:拡大/3:縮小/4:廃止/5:その他)

事業No.	主要な施策・事業	施策・事業の内容	担当課	平成27年度取組内容(実績)や課題等		今後の実施内容(予定)や方向性等	
237	青少年問題協議会活動の促進	青少年の健全育成を図るため、青少年問題協議会が街頭啓発等を行います。	生涯学習課	B	審議会で和泉市内における青少年犯罪の状況についての認識を深めることや、「青少年を非行から守る」市民大会の開催を通じて、青少年の健全育成につながるよう取り組んだ。	1	今後も引き続き、青少年の健全育成に資する活動の取り組みを実施する。
238	メディア・リテラシー*(フィルタリング)	保護者に対する携帯電話やスマートフォンの安全な使い方の啓発を推進します。また、児童・生徒へのトラブル回避のため、モラル等適切な指導を行います。さらに、メディアを情報社会の中で上手に活用できる力を育む体験型情報モラル*教育を実施し、正しく安全なメディアの活用について理解を深めます。	教育委員会指導室	A	各校において、携帯やスマホ活用の安全教室を開催し、情報モラル教育の推進を図った。	1	年々スマホ等によるトラブルが増加し、低年齢化している現状を踏まえ、さらなる情報モラル教育の推進を図る。
			教育センター	A	小中学校各校の情報機器担当者を対象に情報セキュリティ研修を実施	1	メディアを情報社会の中で上手に活用できる力を育む体験型情報モラル教育を実施し、正しく安全なメディアの活用について理解を深める。
		図書館内のインターネットコーナーでは、フィルタリングをかけることにより、子どもたちが有害な情報に接することがないように、細心の注意を払い、常に情報の更新を行います。	読書振興課	A	図書館内のインターネット端末で有害な情報に接することがないようにフィルタリングをかけて制御した。	1	子どもたちが有害な情報に接することがないように引き続き細心の注意を払い、常に情報の更新を行う。
239	生徒指導の推進	子どもの特性理解に基づく、適切な支援を実施していきます。また、問題行動や課題に対する専門的な相談活動や支援体制の充実を図ります。	教育委員会指導室	A	スクールカウンセラーによる教育相談やスクールソーシャルワーカーを活用したケース会議でのアセスメントをもとにした支援を行った。	2	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの派遣拡充を行う。
240	子育てサークル等の活動促進	子育てサークルの活動を支援するため、地域の協力を得て、活動場所の確保・充実に努めます。	こども未来室	A	子育てサークルの活動を支援するため、地域の協力を得て、活動場所の確保・充実に努めた。	1	今後も、子育てサークルの活動を支援するため、地域の協力を得て、活動場所の確保・充実に努めます。
241	子育て仲間づくりの支援	子育てサークルを組織し、育成・支援を行います。また、保護者同士や子ども同士の交流を促進し、子育て仲間づくりの機会を提供します。	青少年センター	A	市内で家庭保育している保護者とその子どもを対象に保護者同士のつながりを重点におき、子育てを共に学習していく機会を提供し、サークル活動につながる事業を実施した。 実施回数 50回 参加者数 1,011人	1	今後も事業を継続する。 ※和泉躍進プランにおいて、施設の老朽化に伴う施設のあり方、サービス提供方法の検討が掲げられていることから、建物の耐震性、青少年センターのあり方や事業の精査、見直しなどを勧告し、検討を進める。

## 基本目標6 子育て家庭を支える環境づくり

(A:計画通りに実行/B:一部実行/C実行していない) (1:現状維持/2:拡大/3:縮小/4:廃止/5:その他)

事業No.	主要な施策・事業	施策・事業の内容	担当課	平成27年度取組内容（実績）や課題等		今後の実施内容（予定）や方向性等	
242	子育てサークルのネットワークの推進	子育てサークル同士の交流や情報交換等を進めるため、子育てサークルネットワーク推進協議会の活動を支援します。	こども未来室	A	子育てサークル同士の交流や情報交換等を進めるための窓口となり、子育てサークルネットワーク推進協議会の活動を支援した。	1	今後も、子育てサークル同士の交流や情報交換等を進めるため、子育てサークルネットワーク推進協議会の活動を支援します。
243	子育て関連団体の交流や協働による支援活動の促進	こども会をはじめ、各種子どもの育ちや子育て支援関連団体による交流の機会や、地域での子どもの育ちの見守りや遊びの指導、世代間交流、青少年の健全育成等協働で取り組む機会づくりに努めます。	関係各課	A	65才以上の高齢者が集う街かどデイハウスにおいて、世代間交流を実施した団体を、補助金交付の対象としている。 【平成27年度実績】 2か所の街かどデイハウスに補助金を交付しました。	1	今後も事業を継続していく。
244	「わが町の子どもを育てよう」事業の推進	中学校区単位にある地域教育協議会による取組の推進と、ボランティアを含む人材確保及び拡大を図ります。	教育委員会指導室	A	地域教育協議会を中心に、イベントや教育講演会などの地域に根ざした取組を実施することで、地域の交流の場づくりを促進し、啓発活動を行った。	1	地域教育協議会の様々な取組を通して、地域への発信や啓発を推進する。
245	老人クラブ活動の促進	高齢者が子どもとふれあうことで生きがいを高めることができるよう、また、子どもも高齢者と交流することで、高齢者に対する理解を促進できるよう、老人クラブ活動での世代間交流等の取組を促進します。	高齢介護室	A	老人クラブ活動において、昔遊びを教える等世代間交流を行った。	1	今後も事業を継続していく。